

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	東京都多摩市鶴牧 1-26-3 NTT 東日本多摩ビル 3F
園名	キッズサポート多摩第二めぐみクラブ

1. 活動のテーマ

<テーマ>

しごと

<テーマの設定理由>

子ども達の会話の中で将来の夢について話す機会が増え、また、お散歩しながら働いている人にも興味を持っている姿が見られるようになり、遊びの中でも、2歳児のころから様々なごっこ遊びを発展していたので、設定しました。

2. 活動スケジュール

- ・街を探索しながら、どんなお仕事があるか知る
- ・お仕事インタビューをさせてもらう
- ・保育参加中に保護者の方にお仕事インタビューをさせてもらう
- ・図書館にて興味があるお仕事についての絵本を借りる
- ・キッズニアに行く
- ・お楽しみ会でキッズニアごっこを保護者を招待して行う
- ・クラス内でアルバイト活動を行う

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・街探検やインタビュー活動に向けて、事前に街中の写真やインタビュー中の様子を撮影し、保育室に掲示することで、活動を振り返られるように環境を整えた。キッズニアごっこでは、さまざまな職業をイメージできる衣装や小道具、廃材、製作素材を用意し、子どもが自由に選択し、工夫しながら作り替えられるようにした。また、図書館で借りた職業に関する本や資料を保育室に配置し、いつでも手に取って調べ直せる環境を構成することで、子どもの興味や探究が継続するよう配慮した。

4. 探究活動の実践

〈活動の内容〉

街を探索しながら身近にあるさまざまな仕事に気付き、実際に働く人へのインタビューを通して仕事の内容や思いを知る活動を行った。保育参加の機会に、保護者へもお仕事インタビューを行い、身近な人たちがどんな仕事をしているのか、なぜその仕事に就いたのか、その仕事をしていて楽しいことや大変なことなどを聞く機会を作った。その後、興味をもった仕事について絵本や資料で調べ、実際にキッザニアに行き、リアルなお仕事体験、お給料を貰って買い物をする流れを体験し、働くことへの知識を深めた。キッザニア体験を経て、クラス内の行事として、キッザニアごっこを行い、自分たちでお店を作り、保護者と一緒にお仕事体験をする活動を行った。室内遊びの中でお店さんごっこやなりきり遊びを継続する様子が見られたので、クラス内でアルバイト活動を取り入れ、お仕事をする中でお給料を貰う活動に取り組んだ。

〈活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり〉

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

お仕事インタビューの中では、「こんなことを聞いてみたいね」「これは何に使うんだろう?」と子ども同士で話し合いながら、質問内容を考える姿が見られた。インタビューでは緊張しつつも自分の言葉で質問し、話を聞いた後には「大変そうだけど楽しそう」「やってみたい」と感じたことを友だち同士で伝え合っていた。また、キッザニアごっこでは、グループごとに活動の流れや必要な物を話し合いながら進める姿があり、保育者は子どもの気付きを受け止めつつ、「どうしたらいいかな」「次はどうする?」と問い掛けることで、考えを広げ、主体的な関わりにつながるよう援助した。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

身近な「仕事」というテーマを通して、子どもたちは社会の中で人がそれぞれ役割をもち、関わり合いながら生活していることに少しずつ気付いていったように感じる。街探検やインタビュー、なりきり遊びなどの実体験を重ねる中で、「知る」ことにとどまらず、「やってみたい」「もっと知りたい」という思いが育ち、主体的に関わろうとする姿につながっていった。実際にキッザニアに行ったことで、お仕事体験を行うことができ、お仕事をすることで給料をもらえる仕組みについて理解し、そのお金で買い物をする流れを経験することができた。その経験から、アルバイト活動をできるようにもなり、お金を使う、貯めるなど、自分で考えられるようにもなってきた。また、友だちと一緒に考えたり役割を分担したりしながら活動を進める中で、相手の思いに耳を傾け、受け入れようとする姿が見られ、対話や協力する力が育まれていることを感じた。活動を継続し、環境を整えていくことで、子ども自身が疑問をもったり、遊びや学びを広げたりする姿が見られたため、今後も子どもの小さな気づきやつぶやきを大切にしながら、次の探究へとつなげていきたい。